

四〇〇万円で売られた松本城

～松本城を守れ！市川量造の物語～

長野県松本市の中心に建つ松本城。今から約四二〇年以

上前、戦国時代の終わり、豊臣秀吉の時代に築城された。

築城からの姿で現在まで残っているお城は、日本全国に一

二城しかなく、そのうち松本城を含めた五つのお城が、国

宝に指定されている。国宝の姫路城は、世界遺産に登録さ

れ、松本城も現在、世界遺産への登録を目指している。

そんな松本城が、たった四〇〇万で売買され、取り壊さ

れそうになったことを、みなさんはご存じだろうか。それ

は文明開化したばかりの明治時代初めのことである。そん

な絶体絶命のピンチに、松本城を守るため立ち上がった男

がいた。

「旦那、旦那、大事件ですよ！」

明治五（一八七二）年、筑摩県（今の長野県）松本下横
田町の副戸長（今でいう副町長）であった市川量造のもと

に、知り合いの男がかけ込んできた。

「そんなにあわてて、どうしたんだい」

男は、ひと息ついてから言った。

「どうもこうもありませんよ。あの松本城が取り壊される
そうですよ」

「なにっ。それは本当かい」

男の話を聞くと、おだやかだった量造の表情が、いっぺ
んに変わった。

「この前の競売で、笹部六左衛門が松本城を買ったことは、

旦那も知っていますよね」

「ああ。たしか二三五両ほどで買ったと聞いたが」

前年の明治四（一八七二）年、明治政府より、廃城令が
発布された。明治維新後の廃藩置県によって、もうお城は
必要なくなったのだ。この時、全国に二〇〇以上あったお
城のほとんどが売却された。

ところで、松本城が売られた金額、二三五両一分永一五
〇文は、いったいどれくらいの価値があったのだろうか。

もっとも現実的とされるお米の値段で換算する、米価計算
でみると、現在の金額で四〇〇万くらいになる。五重